



2012 PUBLIC EXAMINATION

Heritage Japanese

Section 1: Responding to texts

Transcript of Listening Texts

- Text 4
- Text 5
- Text 6

Familiarisation Text

MALE: ぼくの両親は日本人ですが、ぼくはオーストラリアで生まれて、学校もオーストラリアの学校に行きました。

FEMALE: 私の母は日本人ですが父はオーストラリア人です。日本で生まれて、小学校5年生の時オーストラリアに来ました。

Section 1: Responding to texts

Question 4, Text 4 – Radio talkback show 1

男（ラジオのパーソナリティー）

女（エリカ）

男： 次はエリカちゃん。

女： あのう、私、去年大学を卒業して、今^{ほんやく}翻訳の会社で働いています。オーストラリアで生まれ育^{そだ}ってバイリンガルだから、仕事はそれほどむずしくないんですが...

男： じゃ、人間関係？

女： あの、先ばいが「いそがしい人の仕事を手伝わないの？」って言うんです。でも私ちゃんと自分の仕事はしています。だから暇^{ひま}な時はネットをするんですけど。

男： とんりの人がいそがしそうでも？

女： ええ、だってそれは私の仕事じゃないし。自分の仕事は自分すべきでしょ。

男： それがエリカちゃんの考え方なんだ。

女： で、きのうお客さんから会社^{会社に}電話があつたんですが、「私の仕事じゃないので、分かりません」って言ったら、電話の人がおこって...。私がまちがっているんですか。

男： そうじゃないけれど...。一度先ばいのアドバイスも聞いてみたら？それで来週また話そうよ。

女： え～？人の仕事もするんですか？

Question 4, Text 5 – Radio talkback show 2

男： 最初は先週電話くれたエリカちゃんだね。

女： はい。アドバイス、ありがとうございました。

男： 何があったの？

女： 私今週病気で仕事を三日休んだんです。仕事が間に合わないと思ったんですが、あのこわーい先ばいがしてくれていたんです。

男： へえ～、そうなんだ。

女： で、先ばいにお礼を言ったら、「いいのよ。で、元気になった？」って聞いてくれたんです。私も今度となりの人の仕事、手伝ってみようと思います。

男： そう。がんばってね。

Question 5, Text 6 – Conversation between father and daughter

- 美希： お父さん、これ来年の11年生の科目、明日学校に出すからサインして。
- 父： ん、どれどれ…。英語とそれから…。おい、美希、これどういう事だ？高校卒業したら、大学行くんだろ？こんな科目やって、大学行けるのか？
- 美希： ああ、私大学行かないことにしたの。勉強あんまり好きじゃないし。高校卒業したら、お父さんのレストラン手伝うから。一緒にがんばろうね。
- 父： ええっ！大学行って、大きい会社に就職するんじゃないかったのか。学校が休みの時だけうちのレストランでアルバイトしてただけだろ。
- 美希： 卒業したら、フルタイムで働くから。
- 父： 何言ってるんだ。美希はお父さんとお母さんの苦労を見てきただろ。休みは取れないし、お客さんが来なけりゃ、売り上げもないし、本当に大変な仕事なんだよ。
- 美希： わかってる。でも私、お父さんお母さんと一緒にやりたいんだよ。色んなアイデアだってあるんだから。
- 父： 冗談しょうだんじゃないよ。今まで高い金払って、ずっと今の学校に行かせてたのは何だったんだよ。もっとちゃんと考えてくれよ。美希の将来がかかっているんだよ。
- 美希： んー。そうだねえ。もう一度考えてみる。